✓ソフト事業のみ	□ハード事業を含む

## 成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和7年度

市町村名	狭山市					
提案事業名	狭山市制施行70周年を契機とした未来へ紡ぐまちづくり事業					
事業期間	令和6年度					
	(成果を検証する指標) mGAP評価項目を参考に①満足度(満足又は概ね満足)②地域推奨量(他者に勧めたい)③地域参加量(友人・知人と参加したい)④地域感謝量を指標とする。 (成果検証の具体的な方法) 市民等を対象としたアンケート(Logoフォーム)を実施する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	Α
成果指標	従前値 (R5年11月時点)	地域推奨量:13% 地域参加量:10% 地域感謝量:40%	目標値 (R7年3月時 点)	各項目50%以上(増加率)	実績値 (R7年3月時 点)	地域推奨量:28% 地域参加量:34% 地域感謝量:71%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	

## 【事業効果の整理・原因分析】

令和6年度 構成事業

	構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
1	70周年PR事業	0	横断幕の設置やイベントでのぼり旗・バックパネルの活用、市内大学と連携した市制施行日カウントダウンをSNSに投稿するなど、市制施行70周年を市内外に広く周知し、郷土愛の醸成や市の知名度向上につなげることができた。
2	ともに未来へ 狭山市×こども宇宙プロジェクト	0	市内公立小中学校や市民などの写真を組み合わせてモザイクアートを制作し、小中学校での巨大パネルの巡回展示や、ポスターの国際宇宙ステーションへの打ち上げを行うことで、子どもたちの夢や希望を育むとともに、市の知名度向上につなげることができた。
3	市内大学による70周年記念事業	0	市内の4大学が主体となり、幼児教育を取り入れた親子向けの体験イベントや、市で活躍する方のインタビュー動画制作、大学の特色を活かしたワークショップなど、大学毎に企画・立案した事業を実施することで、市の魅力を発信するとともに、未来を担う学生の実践力向上につなげることができた。
4	70周年記念給食	0	市内公立小中学校の給食に、本市の特産品を使ったメニューや、市とゆかりのある企業の商品を提供することで、児童・生徒へ市の魅力が伝わった。また、メディアにも取り上げられ、本市の認知度向上につなげることができた。
⑤	姉妹・友好交流都市招へい事業	0	姉妹友好交流都市の各都市の首長などを招き、市制施行70 周年記念式典への参列や市の文化体験を通して、都市間で親 睦を深めることができた。
6	市制施行70周年記念式典	0	市制施行70周年の節目を市民等と祝うとともに、市政発展 に寄与した方々の功績を称え、敬意と感謝の意を表する機会 とすることができた。また、ダンスパフォーマンス・記念動画の 放映などのアトラクションを通して、市の魅力の再発見や地域 への愛着・誇りの醸成につなげることができた。記念動画につ いては、令和7年全国広報コンクール埼玉県推薦作品の映像 部門で2席に選ばれ、市の知名度向上にも寄与した。
7	ともに未来へスポーツチャレンジ	0	オリンピックメダリストの池谷幸雄氏を招き、子どもたちにスポーツの楽しさを体験する親子体操教室を実施し、本市のスポーツ振興と認知度向上につなげることができた。

8	写真で見る狭山市の70年	0	市の70年の歴史・文化を紹介する写真・映像などの展示や、 特別講演会を開催することで、まちの移り変わりを再認識す るとともに、学んだ歴史を通じて郷土愛の醸成につなげるこ とができた。
9	入曽駅周辺整備事業まちびらき プレオープンイベント	0	記念式典の挙行及び、事業関係者や地域にゆかりのある団体などと連携した、ステージパフォーマンスやブース出展などのまちびらきイベントを開催した。イベントを通して、新しく生まれ変わった入曽駅周辺を体感してもらうことで、活気あるまちづくりへの原動力となるとともに、郷土愛の醸成につながった。
10	さやま子どもフェスタ	0	子どもたちが描いた絵が動く体験型デジタルコンテンツをは じめ、親子ワークショップや子育て応援講座など、親子で楽し めるイベントを開催し、子育て世代の交流を促進するととも に、子育てしやすいまちづくりに寄与した。
11)	狭山市eスポーツイベント	0	AR・VRを活用した身体活動やデジタル脳トレなどが体験できるイベント及び、eスポーツが健康にもたらす効果についての講演会を開催し、多世代のデジタルコンテンツへの理解促進につなげるとともに、eスポーツを通じた健康づくりの契機とすることができた。

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	市制施行70周年を記念して、関係団体・事業者などとの一層の協働や、地域資源を活かした特別な事業などを展開したことで市内外に広く本市の魅力が発信され、本市への興味や関心が深まったことにより、まちを他者にお勧めしたい、自らも友人や知人と参加して一緒に楽しみたい、事業に携わった市民や事業者等へ感謝の気持ちを持ったと感じる市民等の増加に寄与した。
実施事業について 成果が不十分である点	特になし
成果検証を踏まえた 今後の改善策	実施した事業の成果を更に分析し、評価の高いものや有用な事業はこれを契 機に今後の取り組みについて検討する。